

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 大

上場会社名 アルファグループ株式会社

コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長最高経営責任者 (氏名) 上 岳史

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役最高財務責任者 (氏名) 西原 哲司

TEL 03-5469-7300

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,477	3.5	148	66.3	147	64.3	86	55.6
24年3月期第1四半期	5,293	2.2	88	△29.7	89	△30.5	55	△56.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 87百万円 (57.9%) 24年3月期第1四半期 55百万円 (△55.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2,912.75	2,911.37
24年3月期第1四半期	1,872.35	1,871.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	5,136	2,731	53.2	92,448.68
24年3月期	5,873	2,688	45.8	90,997.07

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,731百万円 24年3月期 2,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,346	△2.0	186	6.3	183	2.8	113	22.8	3,824.42
通期	23,200	0.9	400	△4.5	394	△7.3	237	4.9	8,021.12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	30,972 株	24年3月期	30,972 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,425 株	24年3月期	1,425 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	29,547 株	24年3月期1Q	29,547 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 全般的概況

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）における我が国の経済は、復興需要とエコカー補助金という2つの政策効果に支えられ、景気は依然として厳しい状況にあるものの、国内需要中心に緩やかながら回復基調となりました。一方で欧州債務問題等による海外経済の低迷や長期化する円高の影響などにより、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済情勢の中、当社グループは、モバイル事業、オフィスサプライ事業、IT事業、水宅配事業、その他事業の各事業において、既存事業の販路拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高54億77百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益1億48百万円（前年同四半期比66.3%増）、経常利益1億47百万円（前年同四半期比64.3%増）となり、四半期純利益86百万円（前年同四半期比55.6%増）となりました。

② セグメント情報

< モバイル事業 >

社団法人電気通信事業者協会推計による当第1四半期連結累計期間における携帯電話加入契約数は、平成24年6月末で1億2,930万件と、平成24年3月末より約158万件増加しました。キャリア別純増数では、平成24年3月末よりNTTドコモ約26万件（純増シェア16.7%）、au約56万件（純増シェア35.7%）、ソフトバンク約75万件（純増シェア47.5%）となりました。

そのような中、販売台数の増加を主目的として、引き続き高いシェアを占める関東圏に加え、九州、東海中国地域での将来の安定収益の確保および売れ筋端末の確保のため、新規出店に努めると共に販売店支援に注力しました。そして、当社系列の携帯電話販売店舗のブランドを一つに結集し、スケール感をもってブランドの拡大を図るため、新たな店舗ブランド「モバワン」への看板の統一化、「モバワン」ならではの独自サービスの構築を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は37億54百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益76百万円（前年同四半期比29.3%増）となりました。

< オフィスサプライ事業 >

オフィスサプライ事業におきましては、国内ステーショナリー市場および通販市場については、一部では消費自粛ムードが和らいだものの、経費抑制策を継続する企業もあり、先行き不透明な状況で推移しております。

そのような中、前年に引続き販売管理費の圧縮を進めるとともに、当社保有のコールセンターの活用により、「カウネット」の新規顧客の獲得と既存顧客への継続利用の促進、新たな顧客獲得手法の確立に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15億95百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益67百万円（前年同四半期比63.9%増）となりました。

< IT事業 >

IT事業におきましては、前期より既存顧客への業務の最適化を推し進めた結果、安定的に収益を確保出来る体制となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は33百万円（前年同四半期比117.5%増）、営業利益6百万円（前年同四半期比12.5%増）となりました。

<水宅配事業>

水宅配事業におきましては、当社保有のコールセンターを活用し、これまで培ったアウトバウンドコールのノウハウを生かし、積極的な顧客獲得を進める予定でございましたが、東日本大震災の影響から予想以上にウォーターサーバーの供給が遅れ、新規顧客の獲得に支障が生じたことに加え、水源となる地域での地震発生の可能性や、東海地震の発生率予想の発表等から、地震による地殻変動によって地下水の水圧が変化し、水質の変化等が生じる可能性があることから、事業拡大のための投資を見合わせております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は94百万円（前年同四半期比512.3%増）、営業損失3百万円（前年同四半期は営業損失13百万円）となりました。

<その他事業>

その他事業におきましては、平成24年5月に大幅な収益化の見通しが立たないことから、コスメティクス販売事業の事業撤退を判断いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3百万円（前年同四半期比57.5%減）、営業利益1百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は51億36百万円で、前連結会計年度末に比べ7億36百万円の減少となりました。主な減少は受取手形及び売掛金の減少6億73百万円等であります。

負債は24億4百万円で、前連結会計年度末に比べ7億79百万円の減少となりました。主な減少は、買掛金の減少5億45百万円等であります。

純資産は27億31百万円で、前連結会計年度末に比べ42百万円の増加となりました。主な増加は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加86百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当初予定していた範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成24年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,191,930	1,220,095
受取手形及び売掛金	1,739,314	1,065,885
商品及び製品	882,715	821,174
その他	536,196	566,225
貸倒引当金	△10,152	△6,138
流動資産合計	4,340,004	3,667,242
固定資産		
有形固定資産	203,844	166,105
無形固定資産		
のれん	485,112	450,811
その他	4,023	4,192
無形固定資産合計	489,135	455,004
投資その他の資産		
差入保証金	663,947	665,673
その他	212,469	218,535
貸倒引当金	△36,094	△36,042
投資その他の資産合計	840,322	848,165
固定資産合計	1,533,302	1,469,276
資産合計	5,873,307	5,136,518
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,655,328	1,109,622
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	157,296	157,332
未払法人税等	77,421	49,683
その他	461,704	292,379
流動負債合計	2,851,750	2,109,018
固定負債		
長期借入金	260,157	223,565
その他	72,709	72,353
固定負債合計	332,866	295,918
負債合計	3,184,616	2,404,937

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	527,753	527,753
資本剰余金	487,355	487,355
利益剰余金	1,924,520	1,966,263
自己株式	△250,763	△250,763
株主資本合計	2,688,865	2,730,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△175	973
その他の包括利益累計額合計	△175	973
純資産合計	2,688,690	2,731,581
負債純資産合計	5,873,307	5,136,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	5,293,290	5,477,920
売上原価	4,697,401	4,799,585
売上総利益	595,888	678,334
販売費及び一般管理費	506,893	530,332
営業利益	88,995	148,002
営業外収益		
受取利息	1,213	494
受取手数料	982	978
その他	228	337
営業外収益合計	2,425	1,810
営業外費用		
支払利息	1,882	2,700
その他	18	17
営業外費用合計	1,901	2,717
経常利益	89,519	147,096
特別利益		
事業譲渡益	22,278	—
保険差益	—	771
特別利益合計	22,278	771
特別損失		
固定資産売却損	—	3,831
固定資産除却損	—	3,311
減損損失	3,947	—
特別損失合計	3,947	7,142
税金等調整前四半期純利益	107,849	140,725
法人税、住民税及び事業税	42,416	52,768
法人税等調整額	10,794	1,893
法人税等合計	53,211	54,662
少数株主損益調整前四半期純利益	54,638	86,062
少数株主損失(△)	△684	—
四半期純利益	55,322	86,062

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	54,638	86,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	603	1,148
その他の包括利益合計	603	1,148
四半期包括利益	55,241	87,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,925	87,211
少数株主に係る四半期包括利益	△684	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	水宅配 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	3,731,305	1,523,606	15,316	15,505	7,557	5,293,290	—	5,293,290
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	144	777	—	—	—	921	(921)	—
計	3,731,449	1,524,383	15,316	15,505	7,557	5,294,211	(921)	5,293,290
セグメント利益 又は損失 (△)	59,256	41,396	5,650	△13,000	△4,307	88,995	—	88,995

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	水宅配 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	3,754,640	1,594,442	30,688	94,934	3,215	5,477,920	—	5,477,920
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	144	920	2,619	—	—	3,684	(3,684)	—
計	3,754,784	1,595,363	33,308	94,934	3,215	5,481,604	(3,684)	5,477,920
セグメント利益 又は損失 (△)	76,637	67,845	6,359	△3,880	1,040	148,002	—	148,002

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載したとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。なお、当該変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。